



中丹高次脳機能障害者と家族の会

“さくらの会”便り

No93号 2015.8.10

発行責任者
会 長 栗野勝彦
編集責任者
世話役代表 上原 栄
Tel.0773-22-7859

ーリラックスできて、はげまし合うところ、勇気を与えられるところー

学習交流集会に90名が 「百人百様の症状の理解が大事」

福知山市総合福祉会館において、私たち「家族の会」と福知山市の主催で、7月5日午後1時から4時まで「高次脳機能障害リハビリテーション学習・交流会」が開催されました。参加者は90名。

演題「高次脳機能障害者を地域で支えるためにー高次脳機能障害者の認知リハビリテーションー」、講師は神戸大学大学院保健学研究科の種村留美教授により行われました。

講演の中では、宝塚市のNPO法人共生の会「わかば」で取り組まれている事例を紹介され、北部においても高次脳機能障害者の就職に向けたリハや、治療・診断書等



の交付等について積極的な取り組み、リハビリとして、生活の振り返りや、プチ旅行、健康のための体操法として注目され

ている「ピラティス」などを挙げ、感想を書きながら日記をつけるといった忘れないための工夫や、電化製品の簡易リモコンと

いった補助器具も紹介など分かり易く説明をされました。



特に、高次脳機能障害は「百人百様の症状を本人と家族がまず理解することが大事」とアドバイスされました。

また、京都大学、神戸大学、府立大学の3大学で取り組んでおられる「生活」「就労」等に向けた「あぶり」の6か月の試供期間にて募集を求めておられました。

講演の後の交流会では、家族の置かれている厳しい状況や今後北部においてリハ等ができるにはどのような行動が必要なのかなどの話が交わされました。

最後にさくらの会栗野会長より、「今日の講演会の内容を参考にして頑張っていきたい。皆様の支援をお願いします。」との挨拶を受け閉会しました。

高橋前会長が市から表彰



8月1日、綾部市「市制施行65周年記念式典」が、綾部市西町のI・Tビルにおいて行われ、「さくらの会」会長として10年頑張ってきた高橋宏さんが市民福祉功労者として表彰されました。なお、市制施行65周年記念特別表彰として全体で48人6団体が表彰されました。

7月21日(火)に「市民交流プラザふくちやま」において、第1回役員会が開かれ、下記のことが決まりましたので役員会の報告と損保講演会のお知らせをします。

旅費の改正

行動旅費について
さくらの会の行事以外の行動の旅費について府議会、京都府障害者支援課、中丹東・西保健所、舞鶴・綾部・福知山市の関係自治体に対して制度等の要望・支援に関する行動については、実費を支給する。

今後の予定

(1) 損保講演会(北部会場)について

- ・日時：平成27年10月12日(月・祝日)
13:30~16:30
- ・場所：舞鶴赤十字病院 東館1階
講堂(定員120名程度)
- ・対象：一般府民への啓発
- ・テーマ 高次脳機能障害者を支える地域づくり 「高次脳機能障害
~だれでも起こりうる身近な障がい~」
- ・講師：渡邊 修先生(東京慈恵医科大学
学付属第三病院リハビリテーション科)
- ・地域の活動報告 全体60分

(2) 第2回サロンさくら

- ・日時：10月17日(土)
12時~16時頃まで
- ・場所：ハピネスふくちやま 3階
(旧福知山市民会館)
- ・内容：
(仮) 介助者の交流と当事者のお楽しみ会
(歌と作品づくり)
2回目のサロンは、介助者と当事者と内容を分けたいと思います。
具体的には、9月のお便りでお知らせします。

10月18日(日)は、福知山福祉フエスタがあります。第1回で作った布絵の作品を展示しますので17日に持って来て下さい

(3) 秋 日帰りバス旅行

- ・日時：11月22日(日)
- ・行先：箕面温泉スパガーデン
具体的には、10月のお便りでお知らせします。



ね れ や ▼ 意 す さ ▼
ば 気 何 し 熱 さん ▼
投 が か 熱 中 い 猛
稿 付 楽 中 症 かが暑
し いた しい には 続
てた ニ ニ 十分 きます
く ヌー 注 過 皆
だ が ス ！
さいあ

「編集後記」